

資料2

	委員からのご意見・ご提案	取組状況など(R6年1月末時点)	実施状況
1	職員統一名刺はデザインが凝っており魅力的だと感じた。より市民に深く浸透するよう、名刺の配布はまちのプロモーションへの投資という考えを持って、時間を要す相談を受けるような窓口でも配布する等、積極的に配布をして欲しい。また、名前を上にして渡すとデザインが見えないので渡し方を考えたり、SNSでデザインになっている場所等を紹介する等があると、より魅力発信のきっかけになると思う。	資料3にて説明。	令和6年度 実施
2	強みを伸ばすという点に関して、「強み」は一定共通化した方が発信効果は高まると思う。世代や男女など全然ペルソナが違うため難しい点だと思うが、市の職員が何を外の人に伝えるのかわかっていたほうがいい。	吹田市は暮らしにおける様々な場面がバランス良く揃っていることが強みであることは、改めて庁内会議である吹田市シティプロモーション推進会議にて共有した。	実施
3	吹田市のなにを訴求するのか、なにをプロモーションするのはサブ指標が必要。各部署に定着させるために、各部署にサブ指標を考えてもらい、そのテーマに応じて研修等を行うべき。	シティプロモーションの全庁化に向け、各部署にサブ指標の設定については、今後シティプロモーション推進会議を活用し実施を検討していく。	検討継続
4	行政は市民向けのサービス業であるため、能動的かつタイムリーな情報発信をしてほしい。各部署が主体性と当事者意識を持って、自らの施策とシティプロモーションを結び付け行動する必要がある。	能動的かつタイムリーな情報発信や、対象者にわかりやすい発信をするためのスキル向上を目的とした、発信力強化研修を行った。	一部実施 検討継続
5	補助金等について、どんなものがあるのか見つけ出すのが難しい。市から事業者や対象者への発信をしたほうがよりよくなると思う。	また、各室課にシティプロモーションへの当事者意識を持ってもらえるような、ワークを用いた研修も今年度は室課を絞り実施しており、来年度は全室課を対象に実施する予定。 ※研修の参加者数等は資料3に記載。	
6	各部署がシティプロモーションの意識向上を図り、自部署の業務意識を再認識することを目的に、市長表彰制度を実施してはどうか。	職員の意識向上を図るためのものは、重要であると感じている。今後その手法について検討していく。	検討継続
7	各学校へのチラシの配布の際に、タブレットを活用できるよう整備を検討してほしい。	学校教育部に意見、要望を共有した。現状は学校内の連絡に特化した使用をしており、今後その他の活用については課題であると認識している。	検討継続